



paaagsad nadaraid agaaum kdand padar baand fab sair  
パアグサド(風になびく花)は土の助けが無くても外に芽が出て、  
道端では帯状になる。葉は日光である。(いつもの枕詞)

daraum badar bfang nadafand nadadaumb aafb aadaumb fdar  
農地の希望は農地毎であり、新しくて年長でないナダダウム国は合流し  
幾らかの家は良い農地だった。

nadafaab faab sand sand sdaumkaind  
いつもの事ではないが、良い国土が次々とでき、  
集まった家の後に援助があった。

pdasand pab nadabpaadaum kdazi bab aab saab gaadazi sar  
僅かな出入りだが、方法は小さく無い交易の家で、後の仕事だった。  
領土は全て様々な人で、浜辺の仕事はボスだった。

sand nadar aadaum fadaumb kdar aab kb aabfardand  
国土には農地が無く、幾らかの家は遠い家の人であった。  
後に農地は全て守られたが、幾らかの新しい土地は悪かった。

daqand fadar bqaind k said ad sad  
成立した遠い農地は古い地域で、後に長老の助言で固くなった。

nadafdaum fadaum daqdaumb daqaab bfdardarb kdaums  
豊かで無い家は遠い家だが自立家の国は自立的だった。  
新しい農地の農民は後に家に集まった。

bfaadar fadaum aaand bs  
新しい農地は遠い家で静かになることを決めた。

bfdasaumb sand dafarda  
新しい出入りが希望の人は国土の豊かな土地が少なかった。